

補助事業番号 2022M-118
補助事業名 2022年度 医療機器の整備 補助事業
補助事業者名 日本赤十字社

1 補助事業の概要

PCR検査装置：検査要望に関して迅速な検査実施、濃厚接触者の早期発見
および二次感染防止につなげる。

人工呼吸器：重症化した新型コロナウイルス感染症患者の診療体制のさらなる強化

2 予想される事業実施効果

PCR検査装置：医師や行政からの検査依頼に迅速に対応できるようになり検査実施体制強化に繋がる。

人工呼吸器：重症化した新型コロナウイルス感染症患者や医療従事者の負担軽減につながり診療体制強化に効果がある。

3 本事業により導入した機器 <http://www.koga.jrc.or.jp/keirin/>

① 全自動遺伝子解析装置（PCR検査装置）



全自動遺伝子解析装置（PCR検査装置）



全自動遺伝子解析装置（PCR検査装置）配置



古河赤十字病院正面玄関

GeneXpertシステムは検体から核酸を抽出し精製、増幅、検出および結果報告までを全自動で行う遺伝子検査システムです。本体はモジュールと呼ばれる構成単位ごとに一つのシステムと機能し測定においてはモジュールごとに制御可能です。また簡便な前処理による迅速遺伝子検査が実施でき、一般的なPCR検査装置より約60分以上の時間短縮が図れます。

② 人工呼吸器（ネーザルハイフロー）



人工呼吸器（ネーザルハイフロー）本体



人工呼吸器（ネーザルハイフロー）付属品

ネーザルハイフローは酸素と空気の混合ガスを機械的調節のもとで口腔または鼻孔を

通して肺に導入し人工的に呼吸を行わせる人工呼吸器です。本装置は迅速な反応と流量、高圧の供給能力を備えたタービン駆動であり極めて静かなタービン設計により患者や医療スタッフの快適性を高め機動的なデザインと壁配管を必要としないシステムにより、どこでも連続して換気を継続することが可能です。

設置場所：【古河赤十字病院】

③ 本事業に係る印刷物等

災害の備えとして

財務課 用度係長 大橋 恒久

○災害対策としての当院の整備状況

古河赤十字病院の立地的に洪水による浸水被害が出るのが想定されるため、水害への備えとして、色々な設備や機材等が整備されております。

当院の浸水対策としては各出入口止水板の設置を進めております。止水板を設置することで、病院内への浸水被害を最小限に抑えることが期待できます。

また、非常用発電機が当院の上階に整備されているため、商用電源（※1）から非常用発電機（※2）へ切り替えることで医療提供体制の確保及び維持が可能となっております。

（※1）商用電源（しょうようでんげん）とは、電力の製造（発電）と販売（送電・配電）を業とする者、すなわち電力会社から電力消費者に届けられる電力および電力を電力消費者に届ける（供給する）ための設備一般の総称です。

（※2）非常用発電機とは、予期せぬ事故や災害が発生し、建物内への電力供給がストップしてしまった場合に稼働して電力供給を行うものです。



止水板の設置の様様



止水板の効果（イメージ）



非常用発電機（上階に設置）

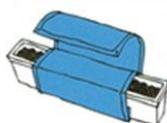
○家庭でもできる対策（浸水深が小さいときに限る）

水のうと板による簡易止水板



玄関等の出入口を長めの板などで塞ぎ、水のうで固定すると浸水を軽減できる。

プランターとレジャーシートによる止水



土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み、玄関の止水に使用することもできる。

ポリタンクとレジャーシートによる止水



10～20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結して、玄関の止水に使用することもできる。

引用元：国土交通省ホームページ

令和4年度 公益財団法人JKA補助事業（申請中）による医療機器の整備



人工呼吸器「ネーザルハイフロー」



全自動遺伝子解析装置（PCR検査装置）

古河赤十字病院はこのほど人工呼吸器及び全自動遺伝子解析装置（PCR検査装置）を令和4年度公益財団法人JKA補助事業（申請中）にて、上記の機器整備を行いました。

人工呼吸器「ネーザルハイフロー」を整備し、従来の人工呼吸器と比較してマスク閉塞感からの解放、挿管せずに使用可能となることから患者負担軽減にも繋がります。

また、PCR検査装置の整備により、PCR検査結果の短絡化及び迅速な検査実施体制の強化が図れることから感染症重点医療機関として地域医療にも貢献できると期待しております。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）

住所： 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

代表者： 社長 清家 篤（セイケ アツシ）

担当部署： 総務局財政部契約課（ソウムキョクザイセイブケイヤクカ）

担当者名： 主事 松原 昌平（マツバラ ショウヘイ）

電話番号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E-mail： keiyaku@jrc.or.jp

U R L： <https://www.jrc.or.jp/>